

そこでメンバーを募集するた
めに私が新しいメンバー募集
のパンフレットを作りまし
た。メンバーが増えれば、土
曜日や祝日に出てくる人も、
特注に出てくる人も増えま
す。仕事が増えて職員を増や
すよりもメンバーを増やす方
が私たちにはメリットがあり
ます。その分メンバーがもら
う工賃も増えるのです。

新しいメンバーに来てもら
うためにも、私たちの生活が
より良いものとなるためにも
さらなる工賃アップが必要と
なってきました。「昨年度は黒
字で儲かったから工賃を上げ
ました。でも、今年度は赤字
なので工賃を下げます。」で
はいけないと思っています。
メンバーができないことは職
員と分業をしながら、基本的
にはメンバーが主体的に働け
るようにするのいいと思いま
す。みなさん一緒に喜楽を盛
り上げていきましょう。

(S)

確かに今は経営的にはとて
も厳しい状況にありますが、
営業会議を重ねる中でみんな
が喜楽の運営を「我がこと」
として考えれるようになった
のは大きな意味を持つと思
います。みんなで力を合わせ、
もつと喜楽が魅力あるお店と
なるよう、努力していきたい
と思います。

今年の目標！

新しい年を迎え、意気込み
も新たにメンバーそれぞれに
新年の目標を立てましたので
ご紹介します。

- 今年も休まずに仕事に来て
頑張つて午後も働けるよう
になりたい！(F)
- よりいっそうおいしいお弁当
を作る。(N)
- うちの弁当をたよりにしてい
るお客様にきちんと対応した
い。(S)
- 配達でお客様との会話を増や

す。(K)

- 積極的に話をする。自分み
きをした！(I)
- 欠勤を減らす！(E)
- 毎日仕事に来る！(F)
- 皆と一生懸命頑張りたい(K)
- 今年は工賃UPを目指して
頑張りたい！(I)
- ウォーキングを続けて健康で
楽しく毎日を過ごしたい(F)
- 体調に気を付けて休まずに
来ること(N)
- 皆勤手当てをも
らう！(O)



住所変更お知らせ下さい

就職・転勤等でご住所の変更な
どがありましたら、左記までご
連絡ください。よろしくお願
い致します。

〈問い合わせ・連絡先〉

ワークハウス・わくわく！

岡山市中区東川原一ー一
TEL(086)270・5552
FAX(086)270・5554

結い後援会への新規加入と継続のお願い

私達は、障害を持って生きていかなければならない人々へ、温かい行政と財政支援を
要求するべく、今後も努力し続けます。
しかし、私達の力だけでは微々たるものです。ぜひ「結い」後援会にご加入いただき
私達の活動を支援してくださいませようよろしくお願い致します。
また、2015年度分の会費未納の方につきましては、継続してご協力いただけます
ように何卒よろしくお願い申し上げます。

<お振込先> 郵便振込口座 01360-0-57757
社会福祉法人「結い」後援会
(個人：年1口 千円 団体：年1口 3千円)

ています。
『こうやってみんなに祝ってもらえてええなあ。これからも一緒に働いていけたらと思います。よろしくお願いします。』と笑顔でご挨拶いただきました。

これからも元気にみんなをひっぱっていつていただきたいと思います。

地域の皆さまに 愛される店づくり

岡山市中区楳に喜楽がオープンして早9年。一食から単身の方や近隣の事業所へ一日約150食の配達を行っています。

私たちのような就労支援事業所は、「就労支援事業で得られた収入ー経費ー通所者の工賃」となるため、一食でも多くのご注文をいただけるよう努力を重ねていますが、今期は残念ながら大幅赤字となりました。

昨年末には、今一度自分たちのうりを見直そうと喜楽のセールスポイントの洗い出しを職員会議の議題としました。

様々な意見が出た中、お弁当の内容では「野菜が多い」「減塩・きざみなどにも対応」、配達については「1食からでも配達料無料」「当日注文可能」「電子レンジ対応容器」等がありました。



喜楽のお客様は御高齢の方も多く、「塩分控えめにしてほしい」「魚の骨はとってほしい」などといったご要望も、お客様の数だけ存在します。喜楽は大きなお店ではありませんが、その分細やかな気配りや個別対応など、『地域に愛されるお店』を目指していこうとみんなが

再確認をしました。
また、メンバー交えての営業会議も毎月定例で行っており、そこでも様々な議論が繰り広げられていますので、ご紹介したいと思います。

「地域で愛されるお弁当 屋さんを目指して！」

今、苦境を脱するため、メンバー・職員が力を出し合う必要がある、今の人員でどのようにして黒字に転じることができると考える必要があると思っております。チラシ配りを続ける以外にも、何か自分たちができることはないだろうかと考えています。(ちなみに僕は、自分でも喜楽のランチや弁当を食べ、気づいた点・感じたことを記録に残しています。)

僕は「地域の皆さまに愛されるお弁当屋さん」を目指していきたいと思っており、そのためにも「一番大切なのはお客様である」という基本中の基本を今一度見直し、必要なことをどんな行動に移していく必要があると思えます。(〇)

「新メンバー募集！」

喜楽では今、経営状況が厳しい状況が続いています。私もみなさんも頑張っています。が、残念ながら努力がなかなか結果につながられていません。しかし、私は「努力は必ず報われる」と信じています。そのためにはみんな一丸となって、知恵を絞って売り上げアップに取り組みたいと思っております。

売り上げを上げるには人手が必要ですが、残念ながら現在の喜楽は人手不足です。



した。



料理や部屋の飾りつけに朝から全員で入り、唐揚げやポテトサラダ、おつくりなどがテーブルに並び、結いの会からも利用者さんが作ったゼリーやプリンも出て、たらふく食べることができました。また、ビンゴ大会やカラオケなど、みんなで大いに盛り上がりました。

日ごろの仕事を離れ、みんなで楽しいひと時を過ごし喜楽メンバーの結末も一段と強まりました。

まりました。このチームワークをまた明日からの仕事につなげていければと思います。

ワークハウス・わくわく！

今年の忘年会は、師走を目前にした11月最後の土曜日に決行。

この日を楽しみにしていた面々がわくわくに集い、午前の作業を終えたメンバーと一緒に楽しくお迎えバスでお店へと向かいます。現地を待っていたメンバーと合流しての総勢26名、今年もにぎやかな会となりました。

豪華な海の幸を前にして、カニの殻に手こずりながらもみんな自然と笑顔がこぼれ、あちこちで談笑の花が咲いていました。

そして宴も佳境、余興として今年は何が出るかなさいころトークと題して、サイコロの出た目の数に応じたお

題について、それぞれが普段の想いを述べました。『○○さんのここがすごい！』というお題には、「休まずに仕事にきているFさんがすごいと思う！」、「誰よりも動いてIさんの働き方がすごいと思う！」など、日頃はなかなか伝えられない思いも伝わり、お互いに一年の労をねぎらったり、来年に向けた抱負を語ったりと盛り上がりました。ほろ酔い気味のせいかわかりませんが、口が滑らかな方も。



こうしてわくわく！の一年を締めくくり、来たる年のさらなる発展を全員で誓いました。

クリスマス & 77歳のお祝い

ワークハウス・わくわく！で働く中で一番の年長者、77歳のメンバーの誕生日祝いを兼ねたクリスマス会を今年も行いました。



無認可作業所時代より、ワークハウス・わくわく！に通所くださって16年、今も変わらず毎日仕事に出てきてタオルたみの仕事に入ってください

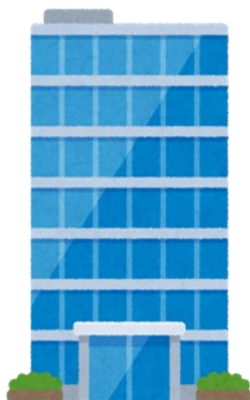
ていきます。利用者の給料UPという目標に向かって、利用者・職員一丸となって頑張っていきたいと思えますので、本年もどうぞよろしくお願い致します。

**きょうされん利用者
学習交流会（広島）
に参加しました！**

12月に広島で開催された「きょうされん」利用者部会主催の「第8回利用者学習交流会」に、職員2名、メンバー3名の5名で参加しました。岡山からの参加は計5名、北海道から熊本まで17都道府県から利用者68名職員52名の計120名が参加して、真剣に学び、また熱く交流しました。

初日は、きょうされん常務理事の赤松英知さんを講師に、「かんがえてみよう 制度のこと 権利条約のこと」第22回国会請願署名がだいじなわけ」のテーマを〇×クイズ形式で私たちのきょうさ

れんが目指している社会・求めている権利について取り上げられました。文章を読んだだけでは解りにくい内容を、かみくだいた解説で具体的にわかりやすく話され、会場の参加者とのやりとりも含め楽しく引き込まれながら学習できました。



私がこの社会福祉法人結いの作業所に通いだして5年半、「きょうされん」活動に関わって3年半、「きょうされん」の目指す運動のあり方は「作業所に通う障害者のため」、などという小さなものではなく「すべての障害者が安心して暮らせる」社会、ひ

いては赤ちゃんから高齢者まで所有する「富」の格差に関わりなく、すべての人々が安心して暮らすことのできる社会の実現なのだと思っています。そんな社会の実現のために、今年もこの請願署名をひとりでも多くの方に知っていただき、一筆一筆頂戴して国会へ届けたい！という思いを強くした学習会でした。



翌日は「ヒロシマ」ならでの平和学習会。語り部の小

方澄子さん（被爆当時14歳）の被爆体験とその後の長い長い苦しみの日々から、被爆57年目にして初めて「被爆」体験を語ろうと語り部となられた経緯をお聴きし、憲法違反の戦争法が強行採決された今こそ、次の世代へ「平和」を守り伝えていこうと、決意を新たにしました。
（このつぼメンバー 杉本泰郎）

**一年の締めくくり！
楽しみな忘年会**

このつぼ（喜楽）

2015年も終わりに近づいた12月5日、今年も喜楽とローザ合同での忘年会が開かれました。例年であれば駅前の居酒屋で行うところですが、今年も赤字を受けて、喜楽の2階で行うこととなりま

新年のご挨拶



ハウスけやき

所長 高橋陽子

新年あけましておめでとう
ございます。

昨年4月に新たに立ち上げた相談支援事業は、法人内外合わせ現在40名の方が利用されています。障害の種類は精神・知的・発達・身体にわたり、障害の程度区分も区分を保持していない20代の一般就労を目指している方から区分6だけども福祉サービスを利用して一人で暮らしている人など様々です。その中でみなさんの自宅を訪問させていただきお話しを伺い、今まで見えていなかったことに気付くことができました。

今年のみなさんの相談支援はもろろんのこと、障害を抱えて生きる生きづらさを社会に見える形にするにはどうしたらいいかを考えていきたいと思っております。
本年もどうぞよろしくお願
いいたします。



ワークハウス・わくわく！

所長 早瀬 文香

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃よりワークハウス・わくわく！の運営に対し、あた
たかいご支援を賜り心よりお
礼申し上げます。

さて、昨年の世相を表す漢
字は「安心・安全・不安」の
『安』が選ばれました。安保
関連法案に始まり、世界中で
頻発したテロ事件、ひとびと
の暮らしが不安にさらされる

中、障がいを持つ方々を取り
巻く環境も厳しさを増してき
ています。障害年金の減額・
新規申請の却下、受給停止
等、障害年金や生活保護、社
会保障全般に対する改悪措置
が堂々と横行し始めていま
す。

当事業所に通所くださる
方々にとつても日々の生活を
大きく揺るがす出来事に、
「いきなり金額が減って、支
払わなければいけないものも
あるのに、これでは今月どう
考えても生活ができない。」
などの声が上がリ、「あたり
まえ」の地域生活を送ること
がこれ程にも難しいのかと感
じます。

前述の『安』という漢字に
は、「2016年が、本当に
安心した、安全な社会になる
ように」との意も込められて
いるとのこと。ワークハ
ウス・わくわく！のみんなが
自分の障害年金と合わせ働い
た工賃で自分らしい生活を送
れ、親亡き後も住み慣れた地

域の中で生活を維持できるよ
うに。私たちも今一度この想
いに立ち返り、やりがいのあ
る仕事の場を提供するととも
に、安心して地域生活が送れ
るだけの工賃保障が実現でき
るようさらなる努力を重ねて
参ります。

皆様方におかれましては、
引き続きご指導とご鞭撻を賜
りますようお願いいたしま
す。



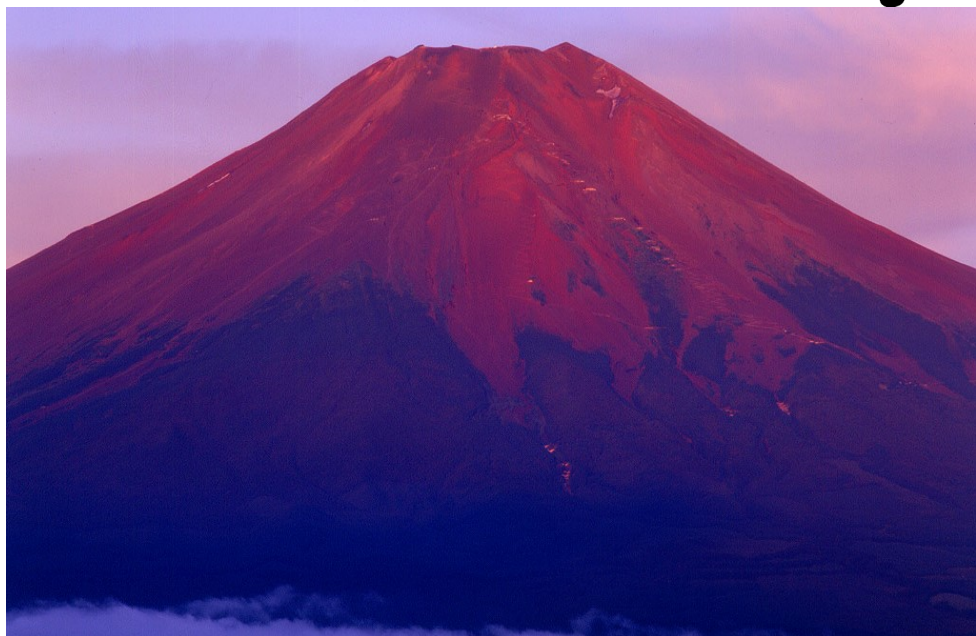
このつぼ主任 中元 大

新年あけましておめでとう
ございます。

昨年はこのつぼ並びに宅配弁
当屋喜楽への多大なるご支援
を賜り、誠にありがとうございます。

今年の喜楽は利用者の方々
がその力を100%発揮でき
る事業所となるよう、努力し

謹賀新年



「結い」だより

第40号
発行
社会福祉法人「結い」
〒703-8255
岡山市東川原1-1
TEL 086-270-5552
FAX 086-270-5554
発行責任者
前田 勝子

申（さる）のように「元気に明るく

楽しい一年に



理事長 前田 勝子

新年あけましておめでとうございませう。

昨年は、社会福祉法人結いの活動に対し、みなさまの温かいご支援・ご協力をいただきありがとうございます。

お正月はいかがお過ごしだったでしょうか。おかげさまで、作業所の仲間たちも無事に新年を迎えることができました。

20年来、障害者団体が制定を求めてきた障害者差別禁止法が2016年4月から施行

されることになりました。「障害者が人として平等に生きられる社会参加の第一歩だ。」と多くの関係者が歓迎しています。しかし、障害者差別禁止法を効力のあるものにするためには課題が多々あります。絵に描いた餅とならないよう、一緒に差別のない社会づくりに取り組んでいきましょう。

今年の干支は申（さる）です。申は「元氣」・「明るく楽しい」というイメージがあります。また、難が去る（さる）と縁起のよい動物と知られています。

申年の今年一年、みんなが元気に明るく楽しく平和な年になるよう心からお祈りいたします。

